

授業改善シート〔国語〕

校番(21) 福山市立 駅家 中学校

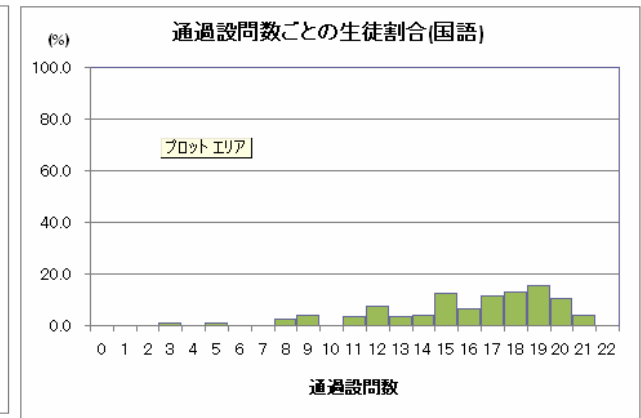
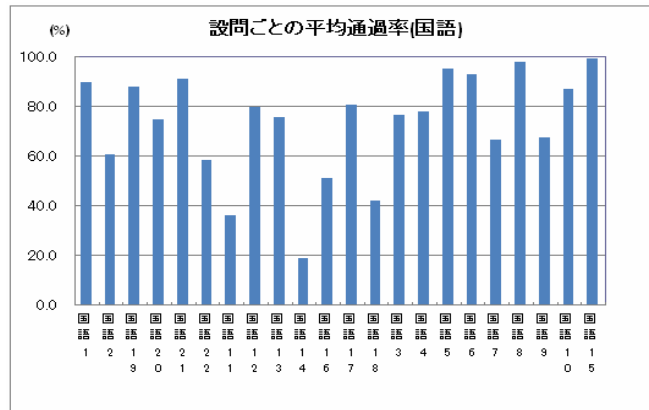
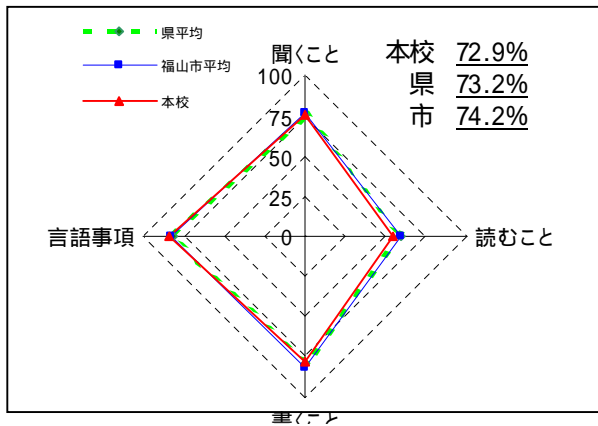
昨年度課題

文学的文章の指導で、情景や心情の描写に注目させ、登場人物の心情をじっくり考えさせる。
文の組み立ての理解を深めるために、練習問題を反復する。

昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

定期テストにおいて、条件作文を出題する。
1分間スピーチを充実させる。
学習用語をしっかりと押さえ、視点をしばった作品の読み取りを行う。
《 本年度の目標値 心情の読み取り+10ポイント以上、文の組み立て+10ポイント以上 》

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



重点課題 「基礎・基本」定着状況調査

文章の展開に即して登場人物の心情を的確にとらえ、文章化することに課題がある。(通過率 18.6%)

文脈の中における語句の意味を正確にとらえ、理解することに課題がある。(通過率 36.5%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業・家庭学習)

【国語科】

キーワードでの心情の読み取りは出来ているが(通過率 75.6%),それを文章化することができていない。ペア学習や班学習を仕組むことで、視点を明確にさせ、さらには自らの力ではっきり表現させる授業展開の工夫をする。200字作文や400字作文に条件を加えて表現させる指導を継続する。

接続詞の役割をしっかりと教え、その効果を理解させるよう、文学的文章・説明的文章どちらにおいても展開に組み込む。

【全校・他教科等】

- ・1分間スピーチの内容充実・応答の指導を継続する。
- ・ペアやグループ活動を通して、話し合いや発表の仕方を徹底させ、用語を定着させる。
- ・条件作文指導をし、定期テストで出題する。

取組みの検証

時期	2月初旬	目標値	読む領域の通過率 100 以上
方法	CRT		

来年度の目標値

心情の読み取りに関する設問の通過率を50%以上にする。
文脈の中における語句の意味をとらえる設問の通過率を50%以上にする。

授業改善シート〔数学〕

校番(21) 福山市立 駅家 中学校

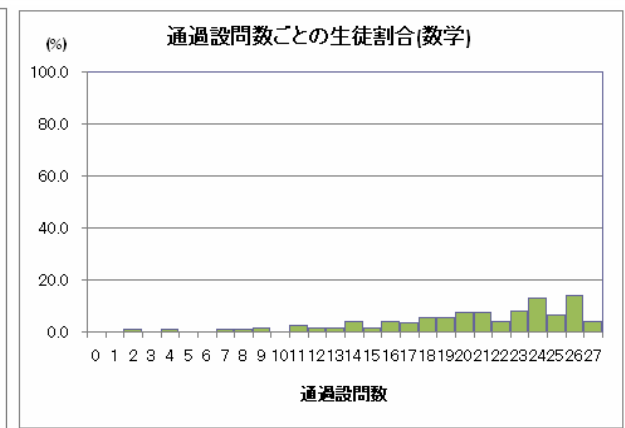
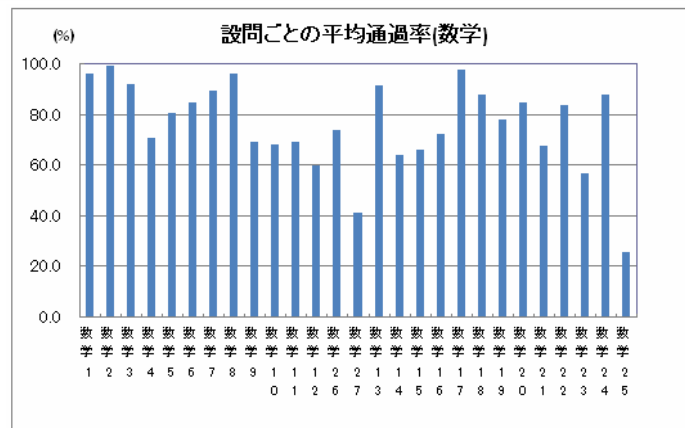
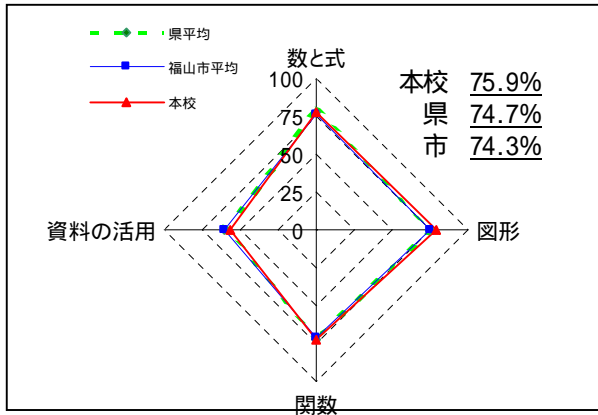
昨年度課題

文字式を読みとることが弱い。
図形領域の基本的知識の習得ができていないことから、求積の通過率が低い。

昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

各単元の確認テストに図形の基礎知識と文字式を読みとる問題を繰り返し出題する。
月に1回の課題プリントで、図形の求積の問題に定期的に取り組ませる。
授業の中で、用語の意味を確認し、論理的な説明をさせる質問を工夫する。
《本年度の目標値 文字式を読みとる問題+10ポイント以上、求積の問題+10ポイント以上》

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



重点課題 「基礎・基本」定着状況調査

相対度数の意味を理解し、度数分布表から相対度数を求めることに課題がある。(通過率 25.4%)

2つのグラフを関連付けて考えることに課題がある。
(通過率 56.6%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業・家庭学習)

【数学科】

度数分布表の意味を理解することはできている(通過率 87.7%)が、それをもとに相対度数を求めることができていない。割合(%)と相対度数を区別させ、授業の中で用語の意味と求め方を確認し、小テストの中に相対度数に関する問題を定期的に繰り返し出題する。

グラフの読みとりや考察に関する宿題プリントを作成し、授業の中で定期的に学習の機会を作る。また、グラフの読みとりや考察の際に視点を与える。

【全校・他教科等】

- ・ペアやグループ活動を通して、話し合いや発表の仕方を徹底させ、用語を定着させる。
- ・条件作文(理由の説明の仕方等)指導をし、定期テストで出題する。

取組みの検証

時期 10・12・1・2・3・4月 目標値 通過率 70%以上
方法 定期テスト・実力テスト

来年度の目標値

相対度数に関する設問の通過率を50%以上にする。
グラフの考察に関する設問の通過率を+10ポイント以上上げる。

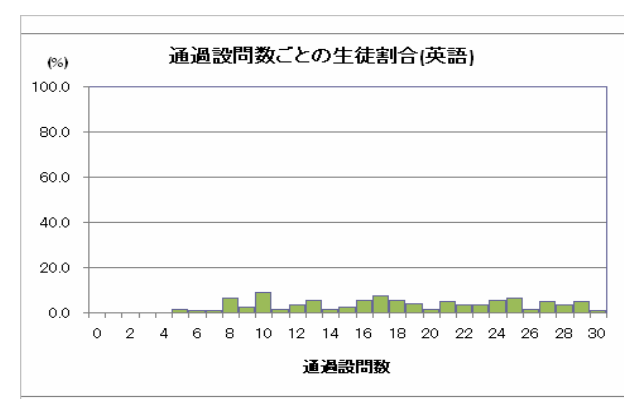
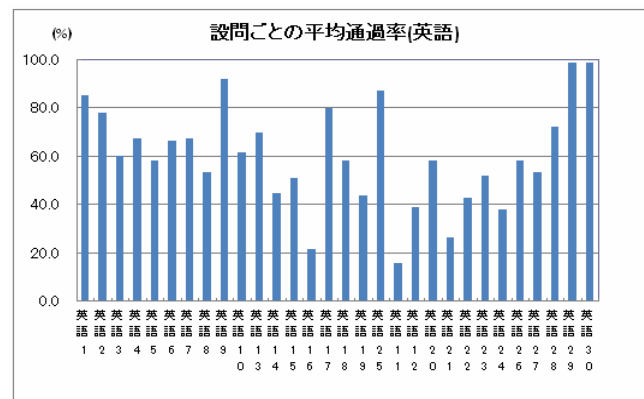
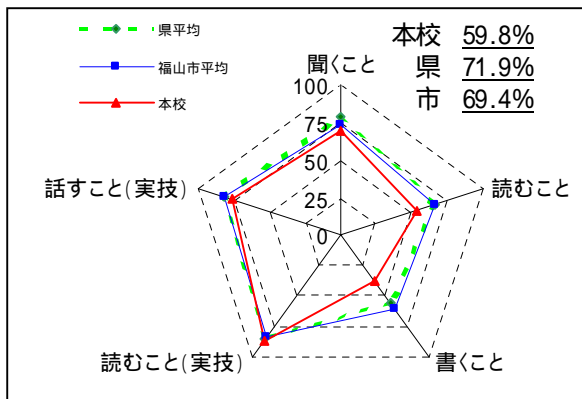
昨年度課題

「聞くこと」において、曜日や日付などの必要な情報を聴きとる能力が身につけていない。
 「書くこと」において、流れを意識した英文の理解やつながりのある英文を書くことが定着していない。

昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

授業において曜日や日付を練習する際、生徒が混同しやすいものは特に明示的に指導し練習する。
 指示代名詞に着目させ、文と文の間どのような前後関係があるのかを考えさせるようにする。
 定期テストで条件英作文を出題し、表現力の向上を図る。
 《本年度の目標値 聞くことの通過率を70%以上にする。書くことの通過率を50%以上にする。》

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



重点課題 「基礎・基本」定着状況調査

指示代名詞の用法について理解し、this を用いて簡単な文を書くことに課題がある。(通過率 15.6%)

助動詞を使って、基本的な文のきまりを理解して会話文を組み立てることに課題がある。(通過率 21.3%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業・家庭学習)

【英語科】

教科書やワーク等の英文に含まれる指示代名詞を意識的に取り上げ、その都度語順を確認させ定着を図る。
 be 動詞・一般動詞と助動詞の関係を構造的に指導しながら多くの英文を練習させ、基本的な英文の決まりを理解させる。

【全校・他教科等】

- ・ペアやグループ活動を通して、話し合いや発表の仕方を徹底させ、用語を定着させる。
- ・条件作文(理由の説明の仕方等)指導をし、定期テストで出題する。

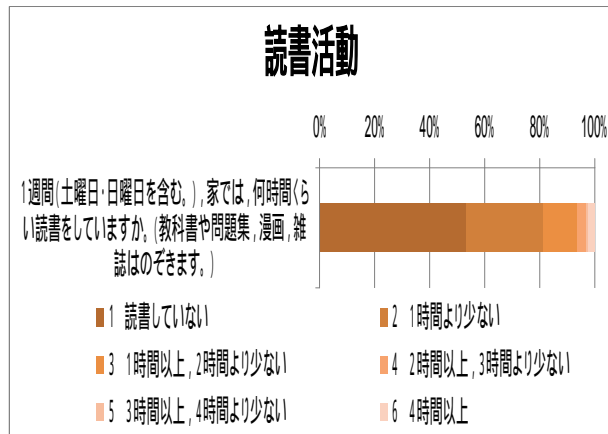
取組みの検証

時期 10・12・1・2・3・4月 目標値 通過率 65ポイント以上
 方法 定期テスト・単語テスト

来年度の目標値

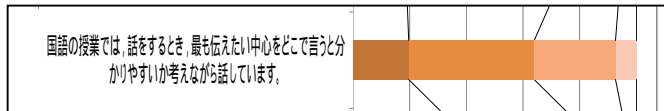
読むことの通過率を60%以上にする。
 書くことの通過率を50%以上にする。

1 生活・学習

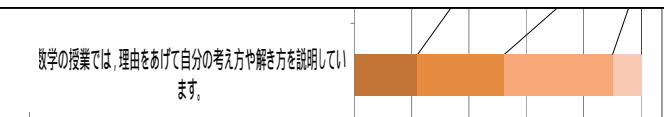


2 教科学習への意識

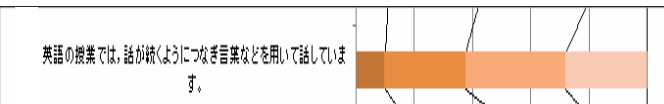
国語の授業では、話をするとき、最も伝えたい中心をどこで言うか分かりやすいか考えながら話しています。



数学の授業では、理由をあげて自分の考え方や解き方を説明しています。



英語の授業では、話が長くようにつなぎ言葉などを用いて話しています。



改善したい点(「基礎・基本」)	今後の具体的な取組みの内容
読書習慣が身についていない生徒が多い。生活の中で読書が位置づいていない。 物事に取り組む時、多面的な思考をすることが苦手な生徒が多い。	・朝読書を充実させる。図書室便りを活用し、本の紹介し、身近に本がある環境づくりをする。 ・論理的思考の場面において、生徒同士の意見交流の場を作り、多面的に視点を持つことを指導する。総合的長く集の体験活動の中で、生徒自身に考え実行させる場をより多く作る。

来年度の目標値	
	・主体的に読書する生徒を80%以上にする。(「読んでいない生徒」を20%以下) ・「ものごとを解決する方法をいくつも考える」と答える生徒を70%以上にする。

	生徒の回答と学校の指導についての課題(「基礎・基本」)	授業改善の方向性や具体的な取組み
国語	話をするとき、最も伝えたい中心をどこでいうか理解している生徒が少ない。言語技術の指導強化の必要がある。	・様々な教材を通して、「話す・聞く」領域の指導を組み入れながら、発表の機会を増やす。 ・1分間スピーチの原稿指導を通して、発表の構成を考えさせ、推敲させる。
数学	発表する際に、理由をあげて説明していると実感できていない。理由をつけて発表させる場面が少ないという指導上の課題がある。	・一問一答のような場面でも、答えた後に「なぜ、そのように考えたのか」と切り返しの発問を行う。 ・ペアやグループで話し合わせ、話しあったことをもとに、生徒が説明する授業を仕組んでいく。
英語	文の構造を考えて英文を読んだり書いたりすることに課題がある。基本的な文型をしっかり理解させておく必要がある。	・基本文型を暗唱して覚えさせたり、それらを用いて英文を作ったりさせる。 ・文の組み立てを考えながら英文を読んだり書いたりする活動を多く取り入れる。

来年度の目標値	
	・「理由をあげて自分の考え方や解き方を説明している」生徒を70%以上にする。 ・「つなぎ言葉を用いて話している」生徒を50%以上にする。

授業改善シート〔実施スケジュール〕 校番(21)番 福山市立 駅家 中学校

	~ 8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
	・ Plan			・ Do			・ Check			・ Action		
	結果の分析・H2 2の改善計画の見直し H2 3の改善計画の実施			検証			次年度の計画					
全校・全教科	漢字200字・英単語100語・計算プリントを全校で指導・徹底を図る。 1分間スピーチの充実・応答の指導をする。生活メモ5行書かせる指導をする。 条件作文指導をし、各教科のテストで記述問題を取り入れる。											
				生徒アンケート						生徒アンケート		
国語	【文学的文章】登場人物の心情をキーワードで出し、さらに文章化させる。【説明的文章】接続詞の役割を考えながら、文全体の構成を理解させる。											
							CRT 実施			CRT 分析 弱点補充		
数学	ペア・グループ活動を通して話し合いを行わせ、その後、理由をつけて発表させる。											
				家庭学習プリントで、相対度数やグラフの考察に関する問題を出題する。 小テストに、相対度数に関する問題を定期的に出題する。			定期テスト			福山市調査 問題		
英語	いろいろな単語を用いて、指示代名詞、助動詞とその他の動詞の語順を理解させる。											
	定期テスト			定期テスト			定期テスト					
生活・学習	3教科毎月1回の確認テストの実施(漢字・計算・英単語) 家庭学習時間1時間半(1週間に12時間)以上の習慣化を図る。											
				生徒アンケート						生徒アンケート		